



2023年11月10日

各 位

会 社 名 児玉化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 坪田 順一  
(コード：4222、東証スタンダード)  
問合せ先 経理財務部長 横山 治男  
(TEL. 050-3645-0121)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の業績予想について下記の通り修正致しますのでお知らせいたします。

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 2024年3月期通期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,500	百万円 770	百万円 690	百万円 380	円 銭 43.65
今回修正予想 (B)	15,000	190	70	△170	△26.95
増 減 額 (B-A)	△1,500	△580	△620	△550	-
増 減 率 ( % )	△9.1%	△75.3%	△89.9%	△144.7%	-
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	15,389	381	432	189	19.15

##### (2) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績に付きましては、売上面においては国内外のモビリティ事業は増収となったものの、リビングスペース事業、アドバンスド&エッセンシャル事業に於いて減収となりました。

収益面においては、製造原価の低減、販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、原材料価格や原油等の値上がりや外注加工費による変動費の増加に、一過性の費用も加わり、国内、海外共に減益となりました。

通期の業績予想に付きましては、海外のモビリティ事業が新規取引などにより回復することに加え、国内の各セグメントに於いても増収を見込んでおります。しかしながら国内のモビリティ事業が当初想定したレベルまでは達しない見通しとなりました。この様な状況下、今回、売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益を下方修正することと致しました。

なお、来期の業績に関しましては、モビリティ事業において、今期第4四半期から開始される予定の新規取引の寄与が本格化することなどから、全体的に改善する見通しです。詳細については、マクロ環境等の動向も踏まえながら、今後策定していく予定です。

(注) 当資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上